



前列左端が執筆者の嶋野さん

大学院同窓会岩手県支部

盛岡大学短期大学部 教授 嶋野 重行

平成元年3月 学校教育専攻 生徒指導コース修了

岩手県公立学校教員、上越教育大学大学院に現職派遣、岩手大学教育学部附属教員を経て、現在は盛岡大学短期大学部幼児教育科の教員として、幼稚園教諭や保育士、施設職員をめざす学生の指導に当たっている。専門は「特別支援教育」、「社会的養護」、「教育心理学」など。

岩手県支部「春日山会」

岩手県の大学院同窓会の名称は「春日山会」といいます。平成24年度は8月に大学から佐藤芳徳 副学長(当時)をお迎えし、盛岡在住の加藤章 元学長を加えた26名で和やかに開催いたしました。多くは、県内の小学校・中学校・高校・大学・教育委員会などの現職教員で、岩手県教育界の中心となって活躍しております。退職された方々もおりますが、同窓生は113名の大所帯となりました。

さて、当日は漆原一三会長の挨拶に続いて佐藤副学長から、大学の現況や上越の様子についていろいろとお話しをいただきました。東日本大震災を経ての2年ぶりの春日山会でしたので、苦労話で瞬間に時間が過ぎました。締めは「高田の四季」を合唱して終わりました。今回は、ご多用にもかかわらず佐藤副学長のご出席をいただき、たいへん感謝しております。

宮城県支部「上越会」

平成24年8月18日(土)、大学院同窓会宮城県支部「上越会」の総会を、加藤章 元学長と若井彌一 学長(当時)をお招きして開催いたしました。志賀野会長の挨拶に続き、加藤先生からは教師と子供と一緒に考えることの重要性について東日本大震災以降の現状を踏まえてご講話をいただきました。未来につながる洞察力が大切であることを強く感じる内容でした。

また、若井学長からは学校現場で起きている様々な問題を法的立場からどう捉えるのかについて実例を交えてお話しいただきました。「思考力を鍛え、打たれ強いプロになれ」との激励が参加者一同の胸にしみました。さらに、被災地の現状と課題について石巻市立河北中学校長の阿部清己先生(今年度会長)より紹介していただきました。



その後の懇親会では、上越時代の懐かしい話で場が大いに盛り上がりました。上越会総会は毎年8月第3土曜日に開催されています。



大学院同窓会宮城県支部 副会長
宮城県大崎市立古川東中学校
校長 門間 進
昭和63年3月
教科・領域教育専攻 自然系コース修了



同窓会事務局長
松本 健義
上越教育大学
学校教育学系 教授
昭和60年3月
教科・領域教育専攻
芸術系コース修了

ご挨拶

平成25年度より、同窓会事務局長を務めさせていただきます、松本健義です。たいへん微力ではございますが、会員の皆様のつながりと活動が、より一層豊かで充実したものとなりますよう、精一杯取り組んで参ります。どうかご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

上越教育大学大学院同窓会事務局へのお問い合わせ先 / E-mail:dousoukai@juen.ac.jp
大学院同窓会ホームページ / <http://www.alumni.juen.ac.jp/>